

付 録

Web 公開情報 (2013 年 3 月 31 日現在)

名 称	URL	備 考
農業統計情報メッシュデータ閲覧システム	http://agrimesh.dc.affrc.go.jp/	一般公開 (近々公開)
土壌情報閲覧システム	http://agrimesh.dc.affrc.go.jp/soil_db/	一般公開 (近々公開)
農環研標本館所蔵タイプ標本データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/insect/inssys/typelst.htm	一部公開
三橋ノート画像データベース	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/insect/inssys/m_note01.html	一部公開
日本産オオアブラムシ属のチェックリスト及び種の検索表	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/insect/key_cinara/main.htm	一般公開
日本産ヒョウタンカスミカメ族の図説検索	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/insect/illust_keys/pilophorini/key_pilophorini01.html	一般公開
マメハモグリバエ寄生蜂の図説検索	http://cse.cryo.affrc.go.jp/konishi/main.htm	一般公開
微生物インベントリー (<i>microForce</i>)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/index.html	一般公開
農業環境技術研究所所蔵微生物さく葉標本目録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/specimen/index.html	一般公開
日本野生植物寄生・共生菌類目録 (日本語版)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/mokuroku.html	一般公開
同 (英語版)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/mokuroku-e.html	一般公開
日本産糸状菌類図鑑 (日本語版)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/mokuroku/zukan.html	一般公開
同 (英語版)	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/microorg/eng/zukan-e.html	一般公開
農業環境モニタリングマニュアル	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/mmanual/index.html	一般公開

植物の金属元素含量に関するデータ集録	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventry/center/hvymetal/index.html	一般公開
土壌線虫画像データベース；属レベル簡易同定のための形質一覧表	http://www.niaes.affrc.go.jp/inventory/nemapics/	一般公開
エコシステムデータベース（英語版）	http://ecomdb.niaes.affrc.go.jp/	一般公開
アジア・太平洋外来生物データベース（APASD）（英語版）	http://apasd-niaes.dc.affrc.go.jp/	一般公開
外来植物図鑑（国が特定外来生物、要注意外来生物に指定した植物）	http://www.niaes.affrc.go.jp/project/plant_alien/book.html	一般公開
自然植生の純一次生産力と農業気候資源の分布	http://www.niaes.affrc.go.jp/topics/g7/clmres.html	一般公開

第1回 6月30日

1) Web API を活用した個別データベースシステムの統合化

Web API for integrate several database systems

大澤 剛士

由来が異なる複数のデータベースを横断的に利用するためには、技術面、運用面の両面において解決しなければならない多くの課題がある。

本発表では、昨年度の成果となった [農業環境情報センター gamsDB] ならびに [オサムシ可標本閲覧システム] に採用された [web マッシュアップ] という技術の紹介を通し、第三期中期計画において演者が取り組む「農業環境統合データベース」構築における基本的な考え方について、主に技術面から解説する。

参考 URL:

[農業環境情報データセンター gamsDB] <http://agrienv.dc.affrc.go.jp/>[オサムシ科標本情報閲覧システム] <http://habucollection.dc.affrc.go.jp/>

第2回 10月12日

1) 状態空間モデルによるニホンジカの個体群動態のモデリング

飯島 勇人 (山梨県森林研)

近年ニホンジカが世界各地で増加し、その個体群管理が重要な課題となっている。本発表では、山梨県で収集されている複数のシカ密度指標と捕獲統計、GIS で無償提供されている景観要素の情報に一般化状態空間モデルを適用し、ニホンジカの個体群動態を解析した。その結果、個体群増加率を1以下にするためには30%以上の捕獲圧が必要であること、常緑樹林や人工草地の割合が高い箇所ほど個体群増加率が高い傾向が認められた。

第3回 12月7日

1) 農業環境技術研究所 昆虫データベース統合インベントリーシステムの紹介

中谷 至伸

昆虫類は農業生態系における重要な構成要素であり、多くの農業害虫や天敵、環境指標生物などが含まれる。農業環境技術研究所では、農業環境研究に資する情報基盤を整備するため、昆虫類に関する様々なデータや標本などの資料を収集・整理し、データベース化を推進している。今回、それらの情報の利活用を促進するためのインベントリーフレームを作成・公開した。本システムは、昆虫・クモ類及びその宿主や餌資源となる動植物の分類情報や形態・分布などの情報を含む分類群情報データベースと、昆虫標本のラベル情報や画像などの標本情報データベースを中心とした昆虫情報データベースを核として構成されている。本年度はこのシステムに文献情報データベースを追加し、分類群情報および標本情報と関連付けることでより利便性の高い昆虫情報システムめざし整備しているところである。本セミナーにおいては、このシステムの特徴について紹介する。

第4回 特別セミナー 2月27日

Management in food production in Belarus ベラルーシにおける食料生産管理

Iossif Bogdevitch (ベラルーシ国立農芸化学大学教授)

チェルノブイリ原発事故発生以来、ベラルーシ共和国において、農産物の生産管理にどのように取り組み、放射性物質による影響の低減を行ってきたか、報告する。Bogdevitch 教授は、ロシア・ベラルーシ共同作成の放射能マップの編者であり、農地土壌の放射能汚染対策に長年にわたり取り組んできた。ICRP (国際放射線防護委員会) 日本委員会が開催する福島ダイアログセミナーに招へいされて来日した。

第5回 2月29日

1) 農地での土壌炭素蓄積による日本の二酸化炭素排出削減ポテンシャル推計のためのシミュレーションシステムの開発

Development of a simulation system to estimate the mitigation potential of carbon dioxide emission by soil carbon sequestration in agricultural lands in Japan

矢ヶ崎 泰海

気候変動緩和策の一つとして、農地に家畜ふん堆肥や作物残さを施用し、その分解過程で腐植などのより分解抵抗性の高い土壌有機物が生成し蓄積することを利用して大気中の二酸化炭素を土壌中に吸収する方策「土壌炭素蓄積 (soil carbon sequestration)」に関心が寄せられている。気候変動緩和策の効果の科学的見地からの検証と国の意思決定支援を行うことを目的とし、日本全国の農地土壌の二酸化炭素吸収・排出量の推計システムを開発してきた。土地利用変化、土壌の分類および物理化学性、気象、農業活動量など、全国を包含する各種インベントリーを整備し、これに気象、農地管理および土地利用変化の将来シナリオを組合せ、土壌有機物動態モデルの RothC model を利用して 1980 年から 2020 年までの全国の農地土壌炭素の増減をシミュレーションにより推計した。土壌の二酸化炭素排出の年変動が大きいこと、京都議定書の算定方式の土地面積の取り扱いに起因する問題を改善する必要性、などが指摘された。インベントリーの整備と利用から、国スケールの数値シミュレーションと将来予測、国の意思決定支援につなげるまでの一連の過程で鍵となる点について紹介するとともに、LCA やカーボンフットプリントの国際標準化、実施義務化への動きが進む現在の状況を踏まえた今後の課題と展望について議論する。

研修会：土壌調査法現地研修会

開催趣旨：主に公立農業試験場の土壌肥料研究者等の土壌調査・分類に関する資質向上を目指して、作物生産及び環境保全等の広い視野に立った土壌調査技術を習得するために研修会を開催する。

1. 岡山

開催時期：平成 23 年 10 月 19 日（水）～20 日（木）

開催場所：秋田県立大学大潟キャンパス、フォーラムアキタ

共 催：独立行政法人農業環境技術研究所、温暖化対策土壌機能調査協議会代表機関、（財）日本土壌協会、土壌保全調査事業全国協議会

協 力：秋田県農林水産技術センター農業試験場、秋田県立大学生物資源科学部

参加者：96 名（農環研 4 名、農研機構 4 名、農水省 1 名、大学 2 名、家畜改良センター 8 名、都道府県農業試験場 74 名、日本土壌協会 3 名）

内 容：

10 月 19 日（水） 8:30～17:00

土壌調査法現地研修（秋田県立大学大潟キャンパス及び生物資源科学部附属フィールド教育研究センター圃場）

土壌調査およびサンプリング法（干拓地グライ低地土水田圃場、草地圃場、未耕地）

講師：小原 洋・高田裕介（農業環境技術研究所）、太田 健、湊山律子（中央農業研究センター）

10 月 20 日（木） 9:00～12:30

関連情報研修（フォーラムアキタ会議室）

今後の農地土壌吸収源対策について 千葉大基（生産局）

温室効果ガスと土壌炭素に関する国際的な研究ネットワーク・国別取り組みの動向

八木一行（農業環境技術研究所）

農耕地土壌分類第 3 次改訂版の分類名同定法 小原 洋（農業環境技術研究所）

秋田県の土壌の概要

中川進平（秋田県農林水産技術センター）

八郎潟干拓地土壌の特徴と農業

金田吉弘（秋田県立大学）

八郎潟干拓地において、干拓後の履歴の違う 4 断面（不耕起水田、耕起水田、草地、未耕地）を題材とし、土壌断面調査法の実習を行った。干拓後の履歴の違いにより、グライ層の出現位置、構造の発達程度、植物根・地下茎の状態などが各断面で異なり、低地土壌の発達過程が解る土壌を見せることができた。参加者が 96 名に及んだため、断面形態が現地研修では 2 班体制で行い、また事前に土壌断面調査を行い資料として配付したため時間的な余裕ができ全員が土壌断面を観察する事ができる環境であった。

土壌炭素事業の土壌分類名には第 3 次案を採用しているが、今回の現地研修と座学研修によって土壌の判定や分類の命名に対する理解が深まったと考えられる。

研究成果の発表

(1) 査読論文

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
Phyllosphere yeasts rapidly breakdown biodegradable plastics	Hiroko K Kitamoto, Yukiko Shinozaki, Xiao-hong Cao, Tomotake Morita, Masaaki Konishi, Kanako Tago, Hideyuki Kajiwara, Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Takashi Watanabe, Yuka Sameshima-Yamashita, Toshiaki Nakajima-Kambe, Seiya Tsushima	AMBExpress	1 (44)	2- 11	2011
Culturable bacterial communities on leaf sheaths and panicles of rice plants in Japan	Hirosuke Shinohara, Shigenobu Yoshida, Junichiro Enya, Yuriko Watanabe, Takao Tsukiboshi, Hiromitsu Negishi, Seiya Tsushima	FOLIAMICROBIOLOGICA	56 (6)	505- 517	2011
Labor-saving preservation of powdery mildew of strawberry by sterilized seedling culture	Motoo KOITABASHI, Shigenobu YOSHIDA, Seiya TSUSHIMA	JARQ-JAPAN AGRICULTURAL RESEARCH QUARTERLY	45 (4)	405- 409	2011
Combined Analyses of Bacterial, Fungal and Nematode Communities in Andosolic Agricultural Soils in Japan	ZHIHUA BAO, YOKO IKUNAGA, YUKO MATSUSHITA, SHO MORIMOTO, YUKO TAKADA-HOSHINO, HIROAKI OKADA, HIROSUKE OBA, SHUHEI TAKEMOTO, SHIGERU NIWA, KENTARO OHIGASHI, CHIKA SUZUKI, KAZUNARI NAGAOKA, MAKOTO TAKENAKA, YASUFUMI URASHIMA, HIROYUKI SEKIGUCHI, ATSUHIKO KUSHIDA, KOKI TOYOTA, MASANORI SAITO, SEIYA TSUSHIMA	MICROBES AND ENVIRONMENTS	27 (1)	72- 79	2012
A novel actinomycete derived from wheat heads degrades deoxynivalenol in the grain of wheat and barley affected by Fusarium head blight	Michihiro Ito, Ikuo Sato, Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Machiko Imai, Seiya Tsushima	APPLIED MICROBIOLOGY AND BIOTECHNOLOGY	96 (4)	105- 9 - 107 0	2012

Thirteen novel deoxy nivalenol-degrading bacteria are reclassified with two genera with distinct degradation mechanisms	Ikuo Sato, Michihiro Ito, Masumi Ishizaka, Yoko Ikunaga, Yukari Sato, Shigenobu Yoshida, Motoo Koitabashi, Seiya Tsushima	FEMS MICROBIOLOGY LETTERS	327 (2)	110-117	2011
Using different versions of the Rothamsted Carbon model to Simulate soil carbon in long-term experimental plots subjected to paddy-upland rotation in Japan	Yasuhito SHIRATO, Yasumi YAGASAKI, Mizuhiko NISHIDA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	57 (4)	597-606	2011
Estimating net primary production and annual plant carbon inputs, and modeling further changes in soil carbon stocks in arable farmlands of northern Japan	Nobuhisa Koga, Pete Smith, Jagadeesh B. Yeluripati, Yasuhito Shirato, Sonoko D. Kimura, Manabu Nemoto	AGRICULTURE, ECOSYSTEMS & ENVIRONMENT	144 (1)	51-60	2011
Inversely estimating temperature sensitivity of soil carbon decomposition by assimilating a turnover model and long-term field data	Gen Sakurai, Mayuko Jomura, Seiichiro Yonemura, Toshichika Iizumi, Yasuhito Shirato, Masayuki Yokozawa	SOIL BIOLOGY AND BIOCHEMISTRY	46	191-199	2012
Phosphate adsorption coefficient can improve the validity of RothC model for Andosols	Yusuke Takata, Toyoaki Ito, Toshiaki Ohkura, Hiroshi Obara, Kazunori Kohyama, Yasuhito Shirato	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	57 (3)	421-428	2011
Estimation of the amounts of livestock manure, rice straw, and rice straw compost applied to crops in Japan: a bottom-up analysis based on national survey data and comparison with the results from a top-down approach	Shin-Ichiro MISHIMA, Sonoko Dorothea KIMURA, Sadao EGUCHI, Yasuhito SHIRATO	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	58 (1)	83-90	2012
Association of organic matter with iron and aluminum across a range of soils determined via selective dissolution techniques coupled with dissolved nitrogen analysis	Rota Wagai, Lawrence M. Mayer, Kanehiro Kitayama, Yasuhito Shirato	BIOCHEMISTRY			2011
シミュレーションモデル (PADDY-Large) を用いた水稲用農薬の河川流域における挙動予測: 千曲川支流流域への適用	稲生圭哉, 北條敏彦, 安納弘親, 宮崎さとえ, 斎藤武司, 朴虎東	日本農薬学会誌	36 (3)	413-427	2011

Coupling of the PADDY-Large model with geospatial information for predicting paddy pesticide behavior in river basins	Nobusuke Iwasaki, Keiya Inao, Takashi Iwafune, Takeshi Horio, Hiroshi Obara	LIMNOLOGY			2012
Delineation of Japanese soil temperature regime map	Yusuke TAKATA, Tsuneo KUWAGATA, Kazunori KOHYAMA, Hiroshi OBARA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	57 (2)	294-302	2011
Factors controlling organic amendment application rate and long-term change in application rate in Japanese paddy field using longitudinal questionnaire survey dataset (the Basic Soil Environment Monitoring Project, Stationary Monitoring, 1979–1998)	Ai LEON, Kazunori KOHYAMA, Shin-ichiro MISHIMA, Toshiaki OHKURA, Yasuhito SHIRATO, Yusuke TAKATA, Ichiro TANIYAMA, Hiroshi OBARA	SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION	58 (1)	104-120	2012
Effects of land use and long-term organic matter application on low-molecular-weight organic acids in an Andisol	Yusuke Takata, Masayuki Tani, Taku Kato, Masanori Koike	Journal of Soil Science and Environmental Management	2 (10)	292-298	2011
The role of river confluences and meanderings in preserving local hot spots for threatened plant species in riparian ecosystems	TAKESHI OSAWA, HIROMUNE MITSUHASHI, HIDEYUKI NIWA, ATSUSHI USHIMARU	AQUATIC CONSERVATION-MARINE AND FRESHWATER ECOSYSTEMS	21 (4)	358-363	2011
Bagging GLM: Improved generalized linear model for the analysis of zero-inflated data	Takeshi Osawa, Hiromune Mitsuhashi, Yuta Uematsu, Atsushi Ushimaru	ECOLOGICAL INFORMATICS	6 (5)	270-275	2011
Management-mediated facilitation: Miscanthus sinensis functions as a nurse plant in Satoyama grassland	Takeshi Osawa	GRASSLAND SCIENCE	57 (4)	204-210	2011
生物多様性情報の整備と活用方法-Web技術を用いた昆虫標本情報閲覧システムの開発を例に-	大澤剛士, 栗原隆, 中谷至伸, 吉松慎一	保全生態学研究	16 (2)	231-241	2011
Paddy-associated frog declines via urbanization: A test of the dispersal-dependent-decline hypothesis	Marina Tsuji, Atsushi Ushimaru, Takeshi Osawa, Hiromune Mitsuhashi	LANDSCAPE AND URBAN PLANNING	103	318-325	2011
コンクリート三面張り河川における生息場所不均一性と底生動物の群集構造の関係	佐々木宏展, 大澤剛士, 久加朋子, 前田知己, 石田裕子, 清水洋平, 三橋弘宗	人と自然(兵庫県立人と自然博物館研究紀要)	22	13-20	2011
セリの新害虫モトグロヒラタマルハキバガ	吉松慎一, 増田俊雄	蝶と蛾	62 (4)	148-150	2011

Taxonomic review of <i>Mythimna</i> (<i>Mythimna</i>) <i>simillima</i> (Walker) and its close Asia-Oceanian relatives (Lepidoptera, Noctuidae, Hadeninae) with description of a new species	Shin-ichi YOSHIMATSU	Lepidoptera Science (蝶と蛾)	63 (1)	18-24	2012
Environmental characteristics accounting for odonate assemblages in rural reservoir ponds in Japan	Kenji HAMASAKI, Takehiko YAMANAKA, Koichi TANAKA, Yukinobu NAKATANI, Nobusuke IWASAKI, David S. SPRAGUE	JARQ-JAPAN AGRICULTURAL RESEARCH QUARTERLY	45 (2)	187-196	2011
A new ceutorhynchus species (Coleoptera, Curculionidae) attacking field-cultivated wasabi (Brassicaceae) in Northern Japan,	Hiraku YOSHITAKE, Takumi FUJISAWA, Junko GOTO, Takekatsu CHIBA	Japanese Journal of Systematic Entomology	17 (2)	293-299	2011
Occurrence of <i>Tapeinotus sellatus</i> (Fabricius) (Coleoptera, Curculionidae, Ceutorhynchinae) in Japan	Hiraku YOSHITAKE, Takeshi SATO	Japanese Journal of Systematic Entomology	17 (2)	347-350	2011

(2) その他の論文

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行年月
農業環境インベントリーセンターの10年を振り返って-9号の発刊に当たって-	對馬誠也	インベントリー, (独) 農業環境技術研究所	9	1-2	2011
農業環境インベントリーセンターの歩み-土壌・昆虫・微生物に関する標本・資源情報を中心に-	對馬誠也	インベントリー, (独) 農業環境技術研究所	9	3-15	2011
微生物標本館への2009年度分の標本追加	小坂橋基夫, 吉田重信, 對馬誠也	インベントリー, (独) 農業環境技術研究所	9	57-59	2011
農業分野の温室効果ガスに関するGRA:炭素窒素循環に関するワーキンググループ会合 (2011年7月ベルギー(ルーベン))参加報告	白戸康人	農業と環境, (独) 農業環境技術研究所	136		2011
農業環境研究所リサーチプロジェクト (RP) の紹介 (1): 温暖化緩和策RP	白戸康人	農業と環境, (独) 農業環境技術研究所	136		2011
土壌情報と数理モデルを利用した河川における農薬濃度の推定	稲生圭哉	インベントリー, (独) 農業環境技術研究所	9	34-37	2012
Procedures for Preparation of Soil Monoliths Revised Edition	Tadao Hamazaki, Hiroshi Obara, Toshiaki Ohkura, Yusuke Takata	インベントリー, (独) 農業環境技術研究所	9	41-52	2011

付録：研究成果の発表

包括的土壌分類第1次試案の構築	小原洋, 大倉利明, 高田裕介, 神山和則, 前島勇治, 浜崎忠雄	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	9	25-28	2012
「土壌情報閲覧システム」を更新	高田裕介	農環研ニュース, (独)農業環境技術研究所	90	12	2011
農業環境情報データベースgamsDBの公開, 農環研ニュース	大澤剛士	農環研ニュース, (独)農業環境技術研究所	92	6-7	2011
農業環境技術研究所・標本シリーズ8: 井上寛コレクション	吉松慎一, 中谷至伸, 吉武啓	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	9	55-56	2011
農業環境技術研究所に寄贈された昆虫タイプ標本379点の公開	吉松慎一, 吉武啓, 中谷至伸, 栗原隆	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	9	20-22	2011
農業環境技術研究所・標本シリーズ7: 日本産ミツギリゾウムシ科(コウチュウ目)	吉武啓, 中谷至伸, 吉松慎一, 田中絵里	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	9	53-54	2011
昆虫文献目録「三橋ノート」コウチュウ目135冊の画像公開	吉武啓, 吉松慎一, 中谷至伸, 上田義治	インベントリー, (独)農業環境技術研究所	9	23-24	2011

(3) 口頭発表

表題	著者	発表誌名 (出版元)	巻 (号)	頁	発行 年月
イネもみ枯細菌病の発生生態と防除に関する研究	對馬誠也	日本植物病理学会報	77 (3)	137- 139	2011
Study on control and epidemiology of bacterial grain rot of rice	Seiya Tsushima	JOURNAL OF GENETICAL PLANT PATHOLOGY	77 (6)	358- 360	2011
PCR-DGGE法による土壌診断法-病害防除への利用の現状と今後の展開	對馬誠也	第64回北陸病害虫研究会講演要旨集		1-2	2012
ムギ類葉面から分離された真菌からの新規揮発性抗生物質生産菌の選抜	小坂橋基夫, 對馬誠也	日本菌学会第55回大会講演要旨	49		2011
Identification of a bacterial cytochrome P450 system catabolizing the mycotoxins deoxynivalenol and nivalenol	Michihiro Ito, Masumi Ishizaka, Shin-Ichiro Yoshida, Ikuo Sato, Motoo Koitabashi, Shigenobu Yoshida, Seiya Tsushima	IUMS 2011 XIII International Congress of Bacteriology and Applied Microbiology XIII International Congress of Mycology FINAL PROGRAM	P- BA	20- 42	2011

AnoveldehydrogenaseofstrainSS5,closelyrelatedtogenusDevosia,catalyzestheinitialstepofdeoxynivalenoldegradation	Daisuke Kurose, Naruto Furuya, Yuko Inoue, Seiya Tsushima, Kenichi Tsuchiya	IUMS2012XIIIInternationalCongressofBacteriologyandAppliedMicrobiologyXIIIInternationalCongressofMycologyFINALPROGRAM	P-BA	08-24	2011
AcomparativestudyofendophyticfungiisolatedfromleavesofFallopiaJaponicainJapanandtheUK,andtheirinteractionswithplantpathogens	Daisuke Kurose, Naruto Furuya, Yuko Inoue, Seiya Tsushima, Kenichi Tsuchiya	IUMS2011XIIIInternationalCongressofBacteriologyandAppliedMicrobiologyXIIIInternationalCongressofMycologyFINALPROGRAM	p-MY	07-4	2011
SurveyandscreeningofclassicalbiologicalcontrolagentsforJapaneseknotweed(Fallopiajaponica)	K. TSUCHIYA, D. Kurose, R. Shaw, D. Djeddour, H. Evance, S. Tsushima, N. Furuya	PROGRAMRESOURCEBOOK2011APS/IPPCJointMeeting			2011
Species-specificdetectionofMycosphaerellaspp.asclassicalbiologicalcontrolagentsforFallopiajaponica(Japaneseknotweed)	N. FURUYA, T. Saeki, D. Kurose, H. C. Evance, S. Tsushima, K. Tsuchiy	byPCRassay,PROGRAMRESOURCEBOOK2011APS/IPPCJointMeeting			2011
EvaluationofMycosphaerellapolygoni-cuspidatiforclassicalbiologicalcontrolofJapaneseknotweed(Fallopiajaponica)	D. KUROSE, N. Furuya, D. H. Djeddour, H. C. Evans, S. Tsushima, K. Tsuchiya	PROGRAMRESOURCEBOOK2011APS/IPPCJointMeeting			2011
Dynamicsofbacterialpopulationonthesurfaceofriceandwheatplantduringthegrowingseasons	Rieko Niwa, Shigenobu Yoshida, Naruto Furuya, Kenichi Tsuchiya, Seiya Tsushima	IUMS2011XIIIInternationalCongressofBacteriologyandAppliedMicrobiologyXIIIInternationalCongressofMycologyFINALPROGRAM	P-BA	13-14	2011
健全および赤かび病に感染したコムギ小穂に生息するPseudomonas属細菌のバイオフィルム形成および小穂上における定着性	吉田重信, 梁英梅, 大場淳司, 小板橋基夫, 對馬誠也	日本植物病理学会報	77(3)	182	2011
コムギ穂からのデオキシニバレノール(DON)分解菌の分離と分離株を用いたムギ粒中のDON低減	伊藤通浩, 生長陽子, 佐藤育男, 小板橋基夫, 今井真千子, 吉田重信, 對馬誠也	日本植物病理学会報	77(3)	182	2011
イネの葉鞘上に生息する細菌の群集構造と生物的防除素材の探索	田辺尚子, 古屋成人, 吉田満明, 江藤圭介, 吉田重信, 對馬誠也, 土屋健一	日本植物病理学会報	77(3)	258	2011
植物表生細菌とイネの相互作用解明のための低葉面密度イネ作出法	丹羽理恵子, 南栄一, 大竹祐子, 木村麻美子, 對馬誠也	日本植物病理学会報	77(3)	258	2011

Herbaspirillumsp.022S4-11株を用いたイネ育苗期における細菌病の発病抑制	河原康二, 赤羽允, 安部由香子, 奥田誠一, 對馬誠也, 根岸寛光, 篠原弘亮	日本植物病理学会報	77 (3)	260	2011
デオキシニバレノール(DON)分解細菌SS5株の有する初発DON代謝酵素	佐藤育男, 伊藤通浩, 石坂眞澄, 志水元亨, 吉田重信, 小坂橋基夫, 高谷直樹, 對馬誠也	日本植物病理学会報	77 (3)	262- 263	2011
生物的防除素材菌としてのイタドリ関連Mycosphaerella属菌のPCRによる特異的検出	佐伯哲哉, 黒瀬大介, 古屋成人, R. H. Shaw, D. H. Djeddour, H. C. Evance, 對馬誠也, 土屋健一	日本植物病理学会報	77 (3)	263	2011
健全および赤かび病罹病コムギ小穂から分離されるPseudomonas属細菌のバイオフィルム形成程度および穂への定着性の差異	吉田重信, 大場淳司, 梁英梅, 小坂橋基夫, 對馬誠也	第27回日本微生物生態学会大会	JSM E20 11	100	2011
キャベツ萎黄病菌のPCRおよびリアルタイムPCRによる特異検出	柏毅, 稲見圭悟, 藤永真史, 小木曾秀紀, 對馬誠也, 寺岡徹, 有江力	土と微生物	65	157	2011
Phyllospherepseudozymaspp.yeaststrainsrapidlydegradebiodegradableplastics	Hiroko Kitamoto, Yukiko Shinozaki, Xiao-Hong Cao, Tomotake Morita, Hideyuki Kajiwara, Shigenobu Yoshida, Motoo Koitabashi, Takashi Watanabe, Toshiaki Nakajima-Kambe, Seiya Tsushima	1stInternationalSymposiumNon-ConventionalYeastsinthePostgenomicEraABSTRACTBOOK	78		2011
Bacillusthuringiensissubsp.sattoを施用したトマトにおける防御関連遺伝子の発現解析	高橋英樹, 荒川竜行, 西村光由, 安藤杉尋, 吉田重信, 對馬誠也, 百町満朗	日本植物病理学会報	78 (1)	70	2012
有機栽培育苗土によるイネもみ枯細菌病抑制効果の解析	安藤杉尋, 對馬誠也, 吉田重信, 長谷川浩, 小林隆, 伊藤豊彰, 高橋英樹	日本植物病理学会報	78 (1)	68- 69	2012
RothC モデルの概念的コンパートメントと実測可能画分の対応可能性	白戸康人, 上村真由子, 和穎朗太, 内田昌男, 近藤美由紀	日本土壌肥料学会講演要旨集	57	184	2011
土壌環境基礎調査を用いた家畜ふん尿堆肥施用量の推定方法の確立と推計結果	三島慎一郎, 木村園子ドロテア, 江口定夫, 白戸康人	日本土壌肥料学会講演要旨集	57	11	2011
土地利用変化を考慮した我が国の農地における土壌炭素蓄積ポテンシャルの推定	矢ヶ崎泰海, 白戸康人	日本土壌肥料学会講演要旨集	57	183	2011

Simulation of soil organic carbon turnover under long-term fertilization in upland soil of China,	Guiying JIANG, Yasuhito SHIRATO, Wenju ZHANG, Minggang XU	日本土壤肥料学会 講演要旨集	57	184	2011
Mitigating greenhouse gas emission in Japanese agriculture 日本の農業における温室効果ガス排出削減	Yasuhito Shirato	日本共生学会第14回 秋季大会(2011) 第2 回アジア太平洋バイ オ炭大会との合同大 会 プログラム			2011
Can measurable soil carbon pools be matched with conceptual compartments in the rothamsted carbon model?,	Y. Shirato, M. Jomura, R. Wagai, M. Uchida, M. Kondo	The 10TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF THE EAST AND SOUTHEAST ASIA FEDERATION OF SOIL SCIENCE SOCIETIES (ESAFS		115- 116	2011
Differences in crop fertilization, yield, and soil fertility across crops and soil groups in Japan	S. Mishima, S.D. Kimura, S. Eguchi, Y. Shirato	The 10TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF THE EAST AND SOUTHEAST ASIA FEDERATION OF SOIL SCIENCE SOCIETIES (ESAFS SLI LANKA 2011)		127- 128	2011
A national soil survey programme for monitoring soil carbon content and soil management in Japanese from 2008 to 2010	H. Obara, A. Leon, T. Ohkura, Y. Shirato, I. Taniyama, Y. Takata	PROCEEDINGS OF THE 10TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF THE EAST AND SOUTHEAST ASIA FEDERATION OF SOIL SCIENCE SOCIETIES		287- 288	2011
Continuous soil Co2 concentration measurements in Takayama supersite and their implications	Seiichiro Yonemura, Gen Sakurai, Masayuki Yokozawa, Ayaka M. Kishimoto, Yasuhito Shirato, Shohei Murayama, Kentaro Ishijima, Mi-Sun Lee, Toshiyuki Otsuka, Hiroshi Koizumi	AsiaFlux Workshop 2011 PROCEEDINGS	60		2011
土壌系における有機・無機相互作用：陸上最大の炭素プールを支配するメカニズムに迫る	和穎朗太, 白戸康人, 近藤美由紀, 内田昌男, Phillip Sollins	Japan Geoscience Union Meeting 2011	MIS 023 -13		2011
Nature of organo-mineral particles across density fractions in a volcanic-ash soil: air-drying and sonication effect,	Wagai, R, Kajiura, R, Shirato, Y, Uchida, M	AGU Fall Meeting 2011	B31 G- 040 3		2011

付録：研究成果の発表

黒ボク土の有機無機集合体の招待は？①粒子比重による分画	和穎朗太, 梶浦雅子, 浅野眞希, 白戸康人, 平館俊太郎	日本ペドロロジー学会 2012大会		19	2012
水稲用農薬の環境挙動予測モデル (PADDY, PADDY-Large)の開発状況と活用	稲生圭哉	第29回農薬環境科学研究会シンポジウム講演集	19	25-34	2011
PADDY-Large モデルによる水稲用農薬を対象として河川水中濃度の不確実性解析	稲生圭哉, 永井孝志, 堀尾剛, 岩崎亘典, 横山淳史	日本農薬学会第37回大会講演要旨集		3-249	2012
Identifying the effect of rice herbicide on aquatic plants using field data in agricultural ditches	Ikeda, H., Hosogi, D., Ishizaka, M., Yamanaka, T., Inao, K., Yamamoto, S.	日本生態学会第59回全国大会		3-249	2012
釧路湿原上流域の養分負荷ポテンシャルの推移	神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	57	165	2011
土壌情報閲覧システムの利用状況から伺えること 土壌情報のユーザーニーズを探る	高田裕介, 小原洋, 神山和則	日本土壌肥料学会講演要旨集	57	187	2011
わが国の農耕地土壌における炭素および窒素賦存量の算定手法評価 -空間的なバイアスを評価してインベントリーの精緻化につなげよう！-	高田裕介, レオン愛, 矢ヶ崎泰海, 大倉利明, 中井信, 神山和則, 小原洋	日本ペドロロジー学会 2011年度大会 講演要旨集	27		2011
包括的土壌分類 第1次試案の概要	小原洋, 高田裕介, 神山和則, 前島勇治, 浜崎忠雄	日本ペドロロジー学会 2011年度大会 講演要旨集	21		2011
Factors Controlling Organic Amendment Application In Paddy Field In Japan.	Ai Leon, Kazunori Kohyama, Shin-ichiro Mishima, Toshiaki Ohkura, Yasuhito Shirato, Yusuke Takata, Ichiro Taniyama, Hiroshi Obara	ASA・CSSA・SSSA International Annual Meetings 2011	S08	278-4	2011
日本の農地土壌の物理的性質データベース SolphyJ	江口定夫, 青木和博, 神山和則	H23農業農村工学会 大会講演要旨集		302-303	2011
Development of agricultural soil-profile physical properties database, Japan: SolphyJ	Sadao Eguchi, Kohyama Kazunori	ASA-CSSA-SSSA International Annual Meeting		117-22	2011

普通畑への有機資材投入量を制御する要因と投入量の長期変動(土壌環境基礎調査1979-1998)	レオン愛, 神山和則, 大倉利明, 高田裕介, 小原洋	日本ペドロロジー学会 2012年度大会講演 要旨集	64		2012
農耕地土壌分類および物理学的性質データベース SolphyJ の桜川流域 SWAT への適用	吉川省子, 坂口敦, 朝田景, 高田裕介, 小原洋, 江口定夫	土壌物理学学会大会 講演要旨集	53	112- 113	2011
Prediction of spatio-temporal variations of soil carbon and nitrogen stocks in Japanese agricultural soils	Y. Takata, A. Leon, Y. Yagasaki, T. Ohkura, M. Nakai, K. Kohyama, H. Obara	PROCEEDINGS OF THE 10TH INTERNATIONAL CONFERENCE OF THE EAST AND SOUTHEAST ASIA FEDERATION OF SOIL SCIENCE SOCIETIES		141	2011
耕作放棄によって”元”普通種が絶滅する	大澤剛士, 神山和則, 三橋弘宗	日本生態学会第59 回全国大会講演要 旨		I1- 10	2012
生物多様性保全のための情報集積と活用～意思決定支援のためのデータ収集プロトコル～	大澤剛士	日本生態学会第59 回全国大会講演要 旨		T10 -2	2012
農地の景観構造が水田のクモ類群集に与える影響	馬場友希, 大澤剛士, 田中幸一	日本生態学会第59 回全国大会要旨集		J1- 01	2012
コミュニティによる被災地航空写真幾何補正の試み: OSGeo財団日本支部による取り組みを例として	岩崎亘典, 今木洋大, 白田裕一郎, 大澤剛士, 大島英幹, 岡田明浩, 嘉山陽一, 清野陽一, 瀬戸寿一, 田口仁, 寺元郁博, 奈良崎優, 林博文, 古川泰人, 松浦慎平, 森亮, 山北剛久, 山口高志, 山手規裕, 吉田大介	地理情報システム 学会第20回GISA学 術研究発表会			2011
コンクリート三面張り河川における生息場所不均一性と底生動物の群集構造の関係	佐々木宏展, 大澤剛士, 久加朋子, 前田知己, 石田裕子, 清水洋平, 三橋弘宗	日本生態学会第59 回全国大会講演要 旨		P1- 332	2012
側所的分布の成立過程におけるニッチ分化の役割: 捕食性歩行虫の場合	高見泰興, 大澤剛士	日本生態学会第59 回全国大会講演要 旨		T16 -3	2012
近年の耕作放棄地拡大による気温場への影響-四国を例として-	吉田龍平, 西森基貴, 飯泉仁之直, 大澤剛士	日本農業気象学会 2012年全国大会講 演要旨	124		2012
日本初発生の長距離移動性外注アフリカシロナヨトウ(鱗翅目ヤガ科)	吉松慎一, 上野卓己, 指宿浩, 湯田達也	日本昆虫学会第71 回大会講演要旨 2011		36	2011
四国のヤマサラグモ属の分子系統解析	馬場友希, 吉武啓, 吉松慎一, 井原庸	日本蜘蛛学会第43 回大会講演要旨集		13	2011
農業環境技術研究所 昆虫データベース統合インベントリーシステムの紹介	吉武啓, 中谷至伸, 吉松慎一, 安田耕司	日本昆虫学会第71 回大会講演要旨 2011		31	2011

付録：研究成果の発表

鱗翅類コレクション画像データベース LepImages の構築	神保宇嗣, 吉松慎一, 広渡俊哉, 中西明德, 上田恭一郎, 矢田脩, 橋本佳明, 阿部芳久, 宇津木望, 伊藤元己	日本鱗翅学会第58回大会講演要旨集	28	2011
日本産Spodoptera属(チョウ目:ヤガ科)の簡易識別法の開発	綿引大祐, 吉松慎一	日本昆虫学会関東支部 第48回大会		2011
アフリカシロナヨトウ用フェロモントラップで誘殺される日本産Spodoptera属成虫の識別法の開発	綿引大祐, 吉松慎一, 吉武啓, 馬場友希, 上里卓己, 島谷真幸, 指宿浩, 湯田達也	第56回日本応用動物昆虫学会講演要旨集	41	2012
三重県で発見されたカタゾウムシ族(コウチュウ目、ゾウムシ科)の1未記載種	吉武啓, 宮原慎一郎, 西野実, 鈴木賢	日本昆虫学会第71回大会講演要旨 2011	35	2011
ハマベゾウムシ(コウチュウ目ゾウムシ科)の遺伝的集団構造について	工藤雄太, 小島弘明, 吉武啓, 馬場友希, 小林憲生	第2回日本甲虫学会大会 講演要旨集	26	2011
クモ類におけるDNAバーコード化の取り組みとその展望	馬場友希, 須黒達巳, 吉武啓	日本蜘蛛学会第43回大会講演要旨集	8	2011

(4) 主要成果

成 果	氏 名	発行年度
「田畑輪換への土壌炭素動態モデルRothCの適用：水田用改良モデルと畑用現行モデルの併用で土壌炭素を精度良く予測」	白戸康人, 矢ヶ崎泰海, 西田瑞彦	2011
「全国土壌温度図の作成と公開ー詳細な土壌温度図が「土壌情報閲覧システム」で閲覧できますー」	高田裕介, 神山和則, 小原洋, 桑形恒男	2011
「リン酸吸収係数を用いた汎用的な黒ボク土用改良RothC」	高田裕介, 大倉利明, 神山和則, 小原洋, 白戸康人	2011
「畑ワサビの害虫ゾウムシを新種として発表」	吉武啓, 藤沢巧, 後藤純子, 千葉武勝	2011

(5) 知的財産権

成 果	氏 名	出願月日
イネ科植物の細菌性病害の防除剤および防除方法並びに該防除剤をコートした種子(特願2011-211164) 2011.9.27特許出願	對馬誠也, 東京農業大学	2011.9.27 特許出願
生分解性プラスチック資材の分解を促進する方法(発明届名称: 酵素と吸水材を用いた生分解性マルチフィルム分解方法) (特願2011-161763) 2011.7.25特許出願	小板橋基夫, 北本宏子, 中澤悠宏, 藤井毅, 渡部貴志, 對馬誠也	2011.7.25 特許出願
植物生息微生物由来の紫外線吸収剤組成物(発明届名称: 植物生息微生物由来の紫外線吸収剤) (特願2011-276731) 2011.12.19特許出願	吉田重信, 小板橋基夫, 對馬誠也, 平舘俊太郎	2011.12.19 特許出願
生分解性プラスチック分解菌およびその分解酵素製造方法(4915593号) 2012.2.3特許登録	北本宏子, 小板橋基夫, 對馬誠也, 坂本洋典	2012.2.3 特許登録

(6) 所主催の研究会等

表 題	著 者	発表誌名 (出版元)	頁	発行年月
Simulating soil organic carbon stock change in Japanese agricultural land with the RothC model	Yasuhito Shirato, Yasumi Yagasaki	MARCO Workshop on Technology Development for Mitigating Greenhouse Gas Emissions from agriculture, (独)農業環境技術研究所	20-21	2011
農薬の環境動態に関するデータベースシステムの構築について-その必要性と活用-	稲生圭哉	第28回農薬環境動態研究会資料		2011
The relationship between nitrogen load and river water quality in several catchments in different area sizes	K. Kohyama	東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド研究教育センター第9回国際シンポジウム「土壌と環境」, 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド研究教育センター	16	2011
農地土壌の放射能濃度分布図の作成	高田裕介, 神山和則, 小原洋, 齋藤隆, 谷山一郎	農業及び土壌の放射能汚染対策技術国際研究シンポジウム要旨集, 農林水産省、国際科学技術センター(ISTC)、ウクライナ科学技術センター(STCU),	136	2012
農地土壌の放射能濃度分布図の作成とその利用	神山和則, 高田裕介, 小原洋, 谷山一郎, 齋藤隆	第29回土水研究会, (独)農業環境技術研究所	43-51	2012

付録：研究成果の発表

福島第一原発事故に伴う農地土壌における放射性物質の分布	谷山一郎, 神山和則, 高田裕介, 小原洋, 木方展治, 前島勇治, 平館俊太郎, 鷲尾英樹, 齋藤隆, 池羽正晴, 鈴木聡, 庄司正, 斉藤研二	農業及び土壌の放射能汚染対策技術国際研究シンポジウム, 農林水産省・国際科学技術センター(ISTC)・ウクライナ科学技術センター(STCU),	55-60	2012
Country-scale estimation of GHG mitigation potential	Y. Shirato, Y. Takata, D. Kimura, S. Mishima, H. Sugiura, Y. Tezuka, S. Furuya, Y. Inoue, K. Okamoto, N. Ishitsuka	MARCO Workshop on Technology Development for Mitigating Greenhouse Gas Emissions from agriculture, (独)農業環境技術研究所	42	2011
Bagging GLM: GLMを極端に不在が多い種データ解析用に改良する	大澤剛士	総合研究大学院大学 葉山セミナー, 総合研究大学院大学		2011
昆虫データベースのクラウド化	大澤剛士	昆虫インベントリーの整備と有効利用のためのシステム講演要旨集, (独)農業環境技術研究所	12	2012
昆虫データベース統合インベントリーシステム	中谷至伸, 吉武啓	第2回農業環境インベントリー研究会 昆虫インベントリーの整備と有効利用のためのシステム講演要旨集, (独)農業環境技術研究所	10-11	2012

研究協力・交流

(1) 国外での研究交流

氏 名	出張国	活動内容	期 間
大倉利明	ウクライナ キエフ、オ ヴルチ、ジトーミル	チェルノブイリ25周年記念国際会議出席および現地調査	2011.04.20～04.29
大倉利明	カザフスタン クルチャ トフ、アルマティ	カザフスタン国における放射性物質汚染に関する政府関係機関との打ち合わせ及び現地調査	2011.05.27～06.02
大倉利明	ベラルーシ ミンスク、 ゴメリ オーストリア ウイーン	土壌放射の汚染対策技術に関するベラルーシ政府関係機関との打ち合わせ・調査、及びFAO/IAEA共同プログラム(食と農業における原子力技術)事務局との打ち合わせ	2011.06.26～07.02
白戸康人	デンマーク オーフス、 コペンハーゲン	農地管理による二酸化炭素吸収量算定法に関する調査	2011.06.27～07.01
白戸康人	ベルギー ルーベン	農業分野の温室効果ガスに関するGRA（炭素窒素循環に関する横断的ワーキンググループ）会合出席	2011.07.12～07.16
對馬誠也	中国 ハルビン	外国専門家として講演と技術講習	2011.07.23～07.29
大倉利明	ロシア モスクワ	原発事故対応に関するロシアへの協力要請に係る専門家会合出席	2011.07.26～07.29
黒瀬大介	アメリカ ハワイ	国際学会「2011 APS-IPPC Joint Meeting」参加	2011.08.05～08.12
黒瀬大介	イギリス エジンバラ	英国研究者との共同研究課題「イタドリの伝統的 生物防除法開発」に関する研究打ち合わせ及び 野外調査	2011.08.23～09.02
大倉利明	ロシア、ベラルーシ、ウ クライナ	「チェルノブイリ原発事故におけるの内土壌放射 能汚染対策の長期的効果に関する影響」に係る 日ロ農業技術交流、および土壌放射能汚染対策 に関する、チェルノブイリ原子力発電所事故にお ける関係国における農作物の放射能モニタリング に関する対策についての調査・打ち合わせ	2011.09.25～10.08
白戸康人	スリランカ コロンボ	第10回東および東南アジア土壌科学会連合国 際会議(ESAFS10)参加	2011.10.09～10.13
小原 洋	スリランカ コロンボ	第10回東および東南アジア土壌科学会連合国 際会議(ESAFS10)参加	2011.10.09～10.15
高田裕介	スリランカ コロンボ	第10回東および東南アジア土壌科学会連合国 際会議(ESAFS10)参加	2011.10.09～10.15
レオン愛	アメリカ サンアントニ オ	ASA-CSSA-SSSA2011 International Annual Meeting参加	2011.10.15～10.21
大倉利明	イタリア ローマ	FAO食料、農業に影響する原子力事故への対応 に関する技術会合出席	2011.11.13～11.20

付録：研究成果の発表

吉武 啓	イギリス ロンドン	大英自然史博物館におけるカタゾウムシ類のタイプ標本調査	2012.01.14～01.29
高田裕介	中国 南京	Advancing the Science and Technology of Soil Information in Asia -Launch of the Global Soil Partnership's Asia Soil Science Network and GlobalSoilMap.net East Asia Nodeへの参加	2012.02.07～02.12
對馬誠也	フランス パリ	「微生物の環境使用に関するOECD会合」出席	2012.03.25～03.28

(2) 依頼研究員

氏 名	所属	研究課題	期 間

(3) 技術講習生

氏 名	所属	研究課題	期 間
姜 桂英 (Guiying Jiang)	中国農業科学院農業資源 与農業区画研究所	長期の施肥試験における土壌炭素動態に関するシミュレーション技術の習得	2010.09.20～2012.03.31
綿引大祐	東京農業大学農学部農学 科	蛾類の分類技術の習得	2011.06.01～2012.03.31
須黒達巳	筑波大学生命環境学群生 物学類	インターネットを利用したクモ類の多様性情 報データベース構築	2011.07.01～2012.03.31
鐘ヶ江良彦	千葉県農林総合研究セン ター暖地園芸研究所	土壌病害の原因究明と対策に関する業務	2011.6.14～2011.6.16

(4) 特任研究員・教育研究研究生等

氏 名	所 属	期 間
菅原秀明	特任研究員：国立遺伝学研究所	2010.04.01～2013.03.31
黒瀬大介	JSPS特別研究員	2010.04.01～2013.03.31
長瀬陽香	教育研究研修生：東京農業大学大学院農学研究科	2011.05.09～2012.03.31

(5) 講師派遣等

氏名	講師派遣の内容	依頼者	期間
對馬誠也	非常勤講師	国立大学法人東京大学	2011.04.01～2012.09.30
對馬誠也	非常勤講師	国立大学法人山形大学	2011.10.01～2012.03.31

(6) 外部委員会委員等

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
對馬誠也	(独)種苗管理センター	調査研究評価委員会委員	2012.02.07～
白戸康人	環境省((独)国立環境研究所受託)	北極高緯度土壌圏における未来温暖化影響予測の高精度化に向けた観測及びモデル開発研究」検討会委員	2011.08～2012.03.30
白戸康人	環境省(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)受託)	平成23年度森林等の吸収問題に関するワーキンググループ委員	2011.08～2012.03.31
白戸康人	農林水産省(三菱UFJコンサルティング(株)受託)	平成23年度 農地基盤における炭素貯留評価に関する検討会」委員	2011.10.03～2012.03.16
白戸康人	環境省(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)受託)	平成23年度温室効果ガス排出量算定方法検討会 森林等の吸収源分科会 委員	2011.12.09～2012.03.31
白戸康人	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課	第30回日中農業科学技術交流グループ会議	2012.02.28～
白戸康人	農林水産省((株)循環社会研究所受託)	「平成23年度環境保全型農業推進調査事業検討委員会」委員	2011.06～2012.03.31
稲生圭哉	(財)日本植物調節剤研究協会	環境残留試験委員	2011.06～2012.05
稲生圭哉	環境省水・大気局(いであ(株)受託)	平成23年度環境省農薬残留対策総合調査「水質農薬残留調査検討会」及び「環境負荷解析調査検討会」委員	2011.10.12～2012.03.21
神山和則	(社)農業農村工学会	「農地の除染対策技術検討委員会」委員	2011.12.05～2012.03.30
神山和則	農林水産省生産局	都道府県の土壌情報取扱者のためのGIS研修	2011.11.29～2011.11.30
高田裕介	文部科学省	放射線量等分布マップの作成等に係る検討会への参加	2011.08.02～
高田裕介	JA神奈川	平成23年度土づくり研究推進協議	2011.07.28～
高田裕介	農林水産省関東農政局	平成23年度関東ブロック 土壌保全対策技術研究会 講師	2011.11.17～2011.11.18

(7) 学会委員

氏名	委嘱・応嘱先	委嘱・応嘱名	期間
對馬誠也	ISRN Agronomy	編集委員	2011.06.22～
對馬誠也	日本植物病理学会	評議員	2010.04.18～2012.03.26
對馬誠也	日本土壌微生物学会	評議員	2011.06.01～2013.05.31
對馬誠也	日本植物病理学会バイオコントロール研究会	会長	2011.03.30～2012.03.31
對馬誠也	日本植物病理学会	編集委員	2012.01.01～2013.12.31
白戸康人	日本土壌肥料学会	編集委員	2011.04.02～2013.03.31
白戸康人	日本ペドロロジー学会	幹事	2011.04.01～2012.03.31
稲生圭哉	日本農薬学会	農薬環境科学研究会委員	2011.04.01～2013.03.31
神山和則	日本土壌肥料学会	代議員	2011.07.01～2013.06.30
高田裕介	日本土壌肥料学会	若手の会講師	2011.08.11～
大澤剛士	日本生態学会	日本生態学会大会企画委員運営部会	2010.04.01～2013.03.31
大澤剛士	日本生態学会	日本生態学会大会企画委員発表編成部会（併任）	2011.04.01～2013.03.31
大澤剛士	日本生態学会（関東地区会）	日本生態学会関東地区会幹事	2011.01.01～2013.03.31
大澤剛士	応用生態工学会	応用生態工学会若手の会運営委員	2011.04.01～2012.03.31
大澤剛士	日本生態学会	大会企画委員運営部会	2010.04.01～2013.03.31
大澤剛士	日本生態学会	大会企画委員発表編成部会（併任）	2011.04.01～2013.03.31
大澤剛士	日本生態学会	電子情報委員（併任）	2012.01.01～
大澤剛士	日本生態学会	関東地区幹事	2011.01.18～2013.12.31
大澤剛士	応用生態工学会	若手の会運営委員	2011.04.01～2012.05.30
吉松慎一	日本鱗翅学会	将来計画特別委員会	2011.04.01～2012.03.31
吉松慎一	日本鱗翅学会	「蛾と蝶」編集委員	2010.01.01～2012.03.31
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	編集委員	2012.01.01～2013.12.31
吉松慎一	日本応用動物昆虫学会	学術用語委員会	2011.01.01～2012.03.31

(8) 同定依頼・技術相談等

件 名	件 数
土壌モノリス作製法・展示に関する相談	1
土壌採取・分析法、手法に関する相談（方法・手法に関する相談）	36
土壌特性に関する相談（分類・性質に関する相談）	4
土壌関係取材	
昆虫同定	8
昆虫の学名・種名・文献等に関する相談	5
昆虫標本に関する相談	
微生物の同定・解析法・文献などに関する相談	6
農薬の動態等に関する相談	2
データベース等に関する相談	5

(9) その他

件 名	期 間
農業環境技術研究所一般公開インベントリー展示館公開	震災の為中止
つくばちびっ子博士2011－昆虫採集標本作製教室	23.07.28～07.29
サマーサイエンスキャンプ2011	23.08.03～08.05
つくばちびっ子博士2011－インベントリー展示館公開	23.08.24
つくば科学フェスティバル2011 「小さな微生物の大きな力」	23.11.12～11.13
アグリビジネス創出フェア2011	23.11.30～12.02
第2回農業環境インベントリー研究会（昆虫インベントリーの設備と有効利用のためのシステム）	24.2.23

付 録

在職者とその動き

氏 名	職 名	期 間	備 考
對馬 誠也	センター長	21. 4. 1～	
神山 和則	上席研究員	18. 4. 1～	
小原 洋	主任研究員	19.10. 1～	
大倉 利明	〃	18. 4. 1～	
高田 裕介	任期付研究員	21. 4. 1～	
大澤 剛士	〃	22. 4. 1～	
白戸 康人	主任研究員	20. 1. 1～	
稲生 圭哉	〃	18. 4. 1～	
吉松 慎一	上席研究員	18. 4. 1～	
中谷 至伸	主任研究員	18. 4. 1～	
吉武 啓	任期付研究員	20. 4. 1～	
菅原 秀明	特任研究員	21. 5. 1～	
宮崎 昌久	名誉研究員	21. 4. 1～	
浜崎 忠雄	名誉研究員	21. 8.21～	
木代 玲子	補助員	18. 9.25～	
レオン 愛	農環研特別研究員	20. 6.25～	
齋藤 猛雄	契約研究員	18.11.13～	
増田 康代	補助員	18. 4. 1～	
渡辺寿美子	〃	18. 4. 1～	
中村加代子	〃	20. 1.15～	
矢ヶ崎泰海	農環研特別研究員	21. 4. 1～	
姜 桂英	技術講習生(中国)	22. 9.20～	
倉松 晃子	補助員	20. 8. 1～	
井澤真知子	〃	18. 4. 1～	
松下 祐子	契約研究員	21. 4. 1～	
丹羽理恵子	農環研特別研究員	21. 4. 1～	
黒瀬 大介	JSPS特別研究員	22. 4. 1～	
辻 佑季子	補助員	22. 11.1～	
八重垣康子	〃	23. 9. 1～	
田中 絵里	〃	23 4. 1～	
岡野 正代	〃	23. 6. 1～	
吉田由美子	〃	23. 6. 1～	
長瀬 陽香	教育研究研修生(農大)	23. 5. 9～	
松本和賀子	補助員	21. 4. 1～23.10.31	
飯島 朋子	〃	23. 9.15～	
綿引 大祐	技術講習生	23. 6. 1～	